

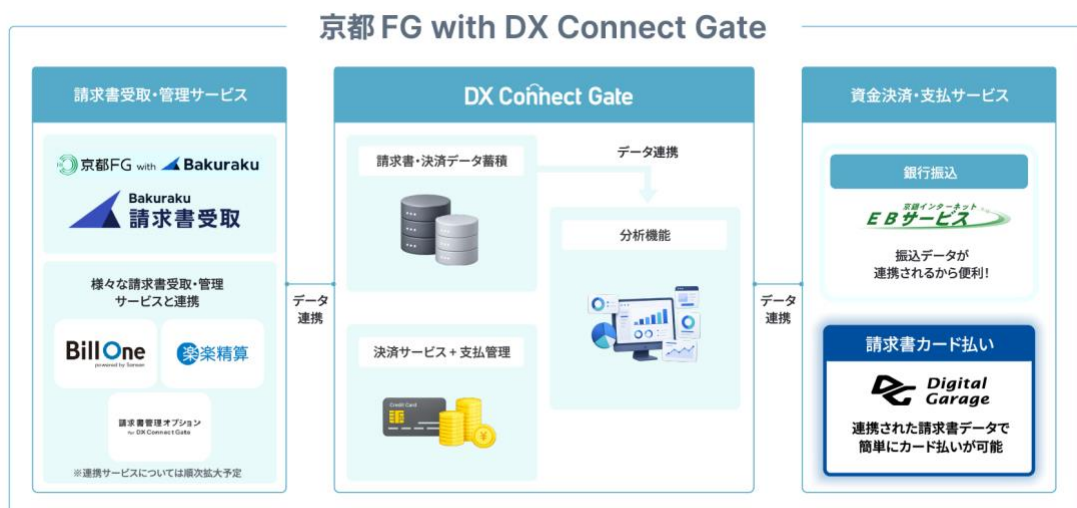
NEWS RELEASE

デジタルガレージ、京都銀行の法人向け DX サービス 「京都 FG with DX Connect Gate」に 請求書カード払い機能を提供開始

～地域金融機関による中小企業への DX 支援強化と資金繰り高度化を同時に実現～

株式会社デジタルガレージ（東証プライム 4819、本社：東京都渋谷区、代表取締役 兼 社長執行役員グループ CEO：林 郁、以下：デジタルガレージ）は、株式会社京都銀行（本社：京都府京都市、取締役頭取 安井 幹也、以下：京都銀行）が提供する法人向けデジタルソリューション「京都 FG with DX Connect Gate」において、請求書カード払い機能（BIPS）の提供を開始しました。

本取り組みは、地域金融機関における法人顧客の DX 支援強化を実現する新たな金融サービスモデルとして位置付けられます。



■ 協業の背景と目的

地域の中小企業においては、請求書処理・支払業務におけるアナログ作業の残存や、システム間の分断による業務非効率性が依然として課題となっています。また、資金繰りの側面では銀行融資に依存する構造が強く、より柔軟で迅速な資金手段のニーズが高まっています。こうした課題に対し、京都銀行が提供する「京都 FG with DX Connect Gate」に、デジタルガレージの B2B 決済基盤を組み込むことで、以下を一体で提供する仕組みを構築しました。

- ・ 請求書管理業務効率化
- ・ 支払のデジタル化
- ・ 支払手段の多様化 = 資金繰り DX

NEWS RELEASE

■ 「京都 FG with DX Connect Gate」において請求書カード払い（BIPS）が提供する価値

本機能は、単なる決済手段の拡充にとどまらず、以下のような新たな価値を創出します。

・資金繰りの高度化（実質的な支払サイト延長）

クレジットカード決済により企業は支払タイミングを柔軟にコントロール可能となり、キャッシュフローの安定化を実現します。

・カード対応状況に関わらず、請求元へは銀行振込

クレジットカード非対応の取引先にも、自社名義により銀行振込で支払われます。

・ポイント、キャッシュバックの活用

クレジットカードの利用により、ポイント還元やキャッシュバック制度を活用できます。

■ 「京都 FG SeamlessLink」サービス概要

「京都 FG SeamlessLink」は、「京都 FG with DX Connect Gate」、「京都 FG with Bakuraku」、「京都 FG 請求・支払 BOX（※8 月開始予定）」の 3 サービスにより構成される、請求書の受領から支払までを一気通貫でデジタル化する法人向けプラットフォームです。

【請求書 DX】

- ・AI-OCR による請求書の自動データ化
- ・データの自動連携による業務省力化

【決済 DX（BIPS 含む）】

- ・銀行振込および請求書カード払いに対応
- ・請求・支払データの一元管理
- ・入力ミスや支払漏れ防止・業務効率化

▼ 「京都 FG SeamlessLink」の詳細についてはこちらをご参照ください

https://www.kyotobank.co.jp/houjin/lp/seamlesslink/202605_01/

■ 展望について

デジタルガレージは、今後、本件のような新たな金融サービスモデルを、以下の方向で横展開を進めてまいります。また、これらの取組みを通じて、地域金融機関の競争力強化と中小企業の持続的成長の両立に貢献してまいります。

- ・地域金融機関との連携拡大による全国展開
- ・ERP・会計システムとの接続強化による業務統合の深化
- ・決済データを活用した金融サービスの高度化（与信・分析等）

▼ 関連リリース

NEWS RELEASE

デジタルガレージ 2025 年 6 月 23 日

デジタルガレージ、TIS と広島銀行が共同展開する地銀向け DX プラットフォームに、当社サービスを基盤とした請求書カード払い機能を提供開始

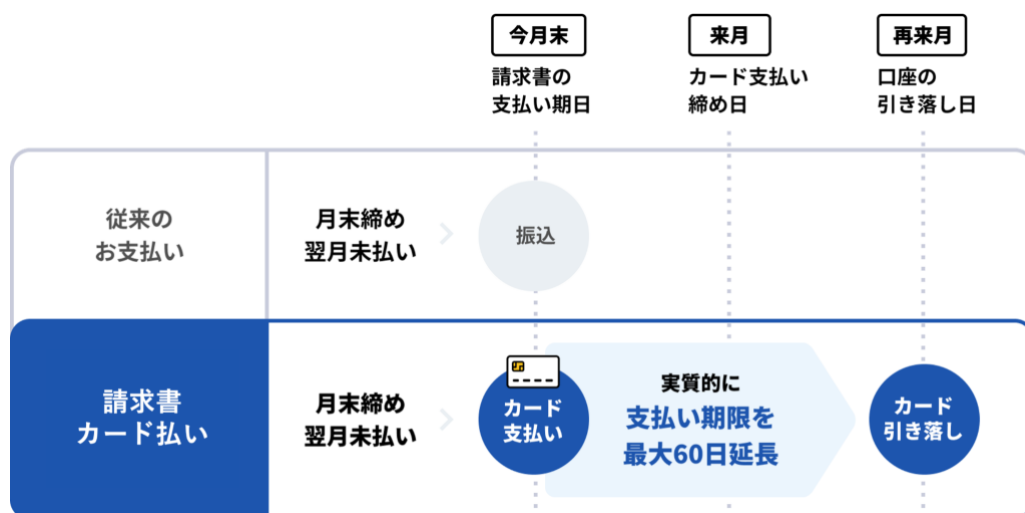
■ 「DGFT 請求書カード払い」について

取引先がカード決済に対応していない請求書の支払いを、銀行振込からクレジットカード払いに切り替えることで、利便性の高いカード利用による業務効率化と、支払い期日の実質的な繰延による資金繰り課題の解消を実現します。

季節要因による定期的な資金不足や突発的な資金調達など、中小事業者の資金繰りをサポートしています。

銀行振込中心の商習慣を維持しながら、支払手段としてカードをご利用いただくことで、業務効率化・資金繰り改善・決済データの可視化を同時に実現します。

なお、デジタルガレージグループでは「SME 向け B2B 決済領域」を、グループ戦略上、「Financial Infrastructure」すなわち、社会の商流とお金の流れを支える中核機能のひとつとして位置づけ、展開を強化してまいります。



■ 会社概要

<株式会社京都銀行>

京都銀行は、創立以来、「地域社会の繁栄に奉仕する」を経営理念に掲げ、時代とともに変化するお客さまのニーズに応え続けることで確実な成長モデルを構築してきました。2023 年 10 月には持株会社体制へ移行し、金融機能の深化に加えて非金融機能の積極的な拡充により、地域社会・お客さまの課題を解決する総合ソリューション企業を目指しています。

URL : <https://www.kyotobank.co.jp>

<株式会社デジタルガレージ>

パーパス「持続可能な社会に向けた“新しいコンテキスト”をデザインし、テクノロジーで社会実装する」のもと、社会インフラを担う国内最大級の決済代行事業者として、多様な総合決済プラットフォームを提供する決済事業を有しています。またデジタル・

NEWS RELEASE

リアル領域においてワンストップでソリューションを提供するマーケティング事業、国内外の有望なスタートアップやテクノロジーヘリーチするスタートアップ投資・育成事業などを展開しています。

URL : <https://www.garage.co.jp/>